

データ駆動型プロセス開発

リアルタイム動態 × 細胞物性パラメータ
による再現性とスケールアップに強い発酵プロセス設計

微生物を基盤とする発酵プロセスにおいて、培養動態と細胞物性の双方を高い解像度で把握することが不可欠です。近年、AIやデータ解析技術の進展により、プロセス開発では従来以上に量的、かつ質的に信頼性の高いデータが産業化に向けて重要となりつつあります。

本セミナーでは、BioLector XT によるバイオマス・DO・pH・蛍光動態のリアルタイム計測と、Multisizer 4e によるサイズ分布・絶対細胞数・凝集度の物性解析を組み合わせた、データ駆動型プロセス開発のための重要な手法を紹介いたします。微生物挙動の可視化とバイオマス量変動の科学的分解を可能とし、発酵プロセスの最適化・ロバスト化に資する高度な定量解析基盤を提供します。



日 時 2026年 3 月 12 日 [木] 12:15 ~ 13:05

会 場 B5会場/RY205

プログラム番号 4LS5B5

演題1

バイオマス・DO・pH・蛍光動態による プロセス中の微生物挙動の可視化と条件探索の高速化

演 者 蔵田 圭吾

ベックマン・コールター株式会社 ライフサイエンス フィールドアプリケーションスペシャリスト

演題2

サイズ分布・絶対細胞数による バイオマス量変動の定量的評価

演 者 二階堂 正聡

ベックマン・コールター株式会社 ライフサイエンス マーケティング本部 プロダクトマネージャー

Beckman CoulterおよびBeckman Coulterロゴは、Beckman Coulter, Inc.の登録商標です。

